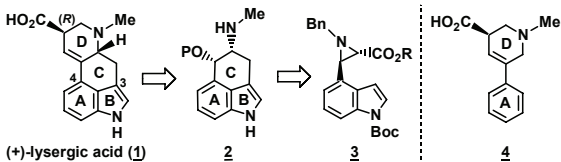


29N-pm09

リゼルグ酸の合成研究: D 環構築の検討

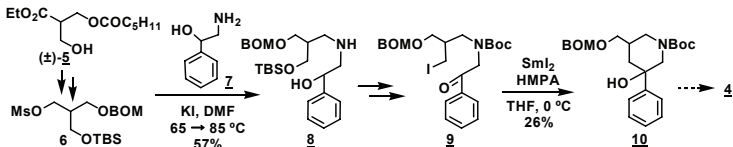
○宮田 幸帆¹, 熊本 卓哉¹, 石川 勉¹ (¹千葉大院薬)

【目的】我々は、アジリジン (3) を合成素子として用いるリゼルグ酸 (1) の不斉全合成研究を行っている。その中で、酵素として



PPL、共溶媒として THF を用いる D 環の合成素子 (R)-5 の高エナンチオ選択的合成を前年会において報告した。¹⁾今回は、2 から 1 への D 環構築を行うにあたり、5 を用いたモデル化合物 4 の合成を検討した。

【方法・結果】まず、ラセミ体の 5 を 6 に変換し、モデルアミン 7 へのアルキル化により 8 を得た。これを 9 に変換後、SmI₂ による還元的閉環条件に付したところ、目的の環化体 10 を 1 : 1 のジアステレオ比で得た。現在、10 の脱水反応ならびに環化反応の更なる条件検討を行っている。



1) 日本薬学会第 126 年会要旨集 2006, 4, 35.